（日本産業規格Ａ４）

別紙様式第３号の２（第４条、第８条関係）（平15内府令95・追加、平19内府令79・令元内府令２・令元内府令14・令２内府令75・一部改正）

登録申請者、重要な使用人及び貸金業務取扱主任者の氏名等

氏名（カタカナ）		氏名（漢字）		生　年　月　日				性別	種別
姓	名	姓	名	元号	年	月	日		

（記載上の注意）

１　氏を改めた者においては、旧氏及び名を、氏名を記載する欄に括弧書で併せて記載することができる。

２　元号については、明治の場合はＭ、大正の場合はＴ、昭和の場合はＳ、平成の場合はＨ、令和の場合はＲと記載すること。

３　性別については、男性の場合はＭ、女性の場合はＦと記載すること。

４　種別については、役員の場合はＹ、重要な使用人の場合はＳ、貸金業務取扱主任者の場合はＫと記載すること。兼務している場合は、その双方を記載すること。

５　上記様式の記入は、上記様式の事項を記録した電磁的記録の提出をもって代えることができる。この場合においては、次によるものとする。

⑴　氏名（カタカナ）は、半角のカタカナで記録し、姓と名の間を半角で１マス空けること。

⑵　氏名（漢字）は、全角で記録し、姓と名の間を全角で１マス空けること。なお、常用漢字でない等の理由により、漢字が記録不可能なものである場合には、当該漢字に代えて、平仮名を記録すること。

⑶　生年月日のうち年、月及び日については、半角の２桁で記録すること。

⑷　氏名（カタカナ）、氏名（漢字）、元号、年、月、日、性別及び種別の間をカンマで区切ること。

（例）　昭和40年２月１日生まれの貸金太郎氏（男性）が重要な使用人及び貸金業務取扱主任者である場合には、「ｶｼｷﾝ ﾀﾛｳ，貸金　太郎，Ｓ，40，02，01，Ｍ，ＳＫ」と記録する。